

令和6年度 学校自己評価表(計画)

学 校 運 営 計 画		
学校運営方針	「自主自律」「求真窮理」「協調責任」「誠実感謝」の精神の下、個性豊かな社会人の育成をめざし、全人的教育を推進するため、以下を実現するべく学校を運営する。 (1)主体的に真理を追究し、学び続ける生徒を育てる学校 (2)他の人を思いやる心の豊かさたくましく生き抜く気力体力を育てる学校 (3)佐渡から世界へ、世界から佐渡への視点で考え、行動する生徒を育てる学校 (4)生徒が安心して学び、生活することができる学校	
三つの方針(スクール・ポリシー)		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	①高い志を持ち、真理の追究や夢の実現に向けて主体的かつ継続的に学習する態度を育成します。 ②文武両道を体現し、様々な変化や困難に柔軟に対応できる気力と体力を育成します。 ③他者を気遣い、思いやる豊かな心を育成します。 ④グローバルな視野を持ち、ふるさと佐渡を誇りに思い、持続可能な発展に向けて貢献する課題解決能力を育成します。 ⑤発信力やコミュニケーション能力を高め、多様な価値観を認め合い、対話と協働を通じて、よりよい社会をつくりあげていくリーダーシップを育成します。	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	①個に応じた学習指導の充実を図り、少人数制や習熟度別の授業を実施します。 ②部活動、学校行事及び多様な体験学習を通じて、「人間力」を陶冶し、社会性や新しい時代を生きる力を身に付ける指導を行います。 ③希望の進路を実現するために、授業改善を図るとともに、丁寧な学習指導により学力の向上に努めます。 ④地域社会や大学と連携したキャリア教育を充実させ、グローバルな視点から佐渡の課題を考察し、解決に向けて取り組む探究型学習を推進します。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	①学習意欲が旺盛で、自己の進路目標に向かって努力できる生徒 ②学校行事や生徒会活動、部活動等の様々な活動に意欲的に取り組むことができる生徒 ③他者と協働しながら学校生活を送り、心身ともに高め合うことができる生徒 ④佐渡の歴史・文化・自然等に目を向け、地域貢献しようと考え、行動できる生徒	
昨年度(令和5年度)の成果と課題	今年度の重点目標	具体的な目標(能力の育成)
		具体的な取組(方策は各分掌で設定)
	(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・ 学習習慣の定着 ・ 授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・ 教育相談・各種個別指導の充実
	(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・ 挨拶の励行と人間力の向上 ・ 対話的な学びの推進 ・ 学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・ 特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行
	(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・ 総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・ 健康管理意識の向上・体力の増進 ・ 基本的な生活習慣・規範意識の確立 ・ 清掃活動の徹底
【教職員の働き方改革】 月45時間超過勤務者の割合9.7%であった。(昨年度20.4%) 昨年度と比較して改善したが、担当による業務の偏りや時季による繁忙の偏りが依然として大きいので、引き続き業務の標準化を進める必要がある。	(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・ 深い学びによる洞察力の育成 ・ 職業講話とキャリア探究による自己理解 ・ 生徒会活動や部活動を通じて他者理解 ・ 海外連携高校と交流推進

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	全教科・HRを通じて、主体的に学ぶ姿勢・学習習慣を確立する。			
		授業改善(深い学びの実現、大学入試問題研究)に務め、授業公開を実施する。			
		各種個別指導を実施する。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など 主体的な課外活動の励行	全教育活動を通じて、挨拶を励行し、基本的生活習慣を丁寧に指導する。			
		全教育活動を通じて、人権教育・道徳教育を推進し、人権意識を向上する。			
		特別活動や部活動を充実させ、ボランティアなどの協働活動への積極的な参加を促す。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐えうる体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的な生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	いじめ防止、不登校防止に向け、教育相談を充実する。			
		総合的な探究の時間を中心とした探究型授業の推進とサステナビリティ感覚の向上			
		保健体育授業、清掃指導、体育的行事を充実し、健康意識・安全意識・規範意識を高める			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	進路指導シラバスを実施し、キャリア相談を充実する。			
		海外連携学校の生徒と交流して、グローバルな視野を育成し、自己理解・郷土理解を深める。			
		生徒会活動や部活動を通じて、他者理解・自己理解の深化を促す。			
成 果			総合評価		

【教務部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	行事予定、時間割を調整して時数の確保に努め、一層の学力定着を図る。			
		シラバスを作成し、より効果的な授業展開を研究する。			
		振り返り等の学習調整機能育成に向けて、評価方法や成績処理手順を整える。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	ボランティア活動の案内を実施し、生徒が積極的に参加できる環境を整える。			
		生徒会との連携により、各種行事の充実を図る。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔な学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	災害発生や感染症拡大による教育活動への影響を最小限にとどめるよう、行事予定・時間割を調整する。			
		チャイムにより生徒が整然と行動できる環境を作る。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	個別面談・指導等を実施しやすい行事予定・時間割等を調整する。			
		各種奨学金等、進路実現のためのサポートを行う。			

【研究・情報部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	授業改善を目的として、ICT活用授業、探究型学習および課題研究指導法に関する研修会を実施する。			
		ICT機材や情報システムを整備・保守し、授業等で活用できる状態を保つ。			
		教具・教材等の充実を図り、指導を行いやすい環境を整える。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	学校のWEBページを随時更新し、特別活動の様子を校内外に発信する。			
		情報提供や環境整備により、SNS授業実施を支援し、マナー向上を図り、トラブルの減少を目指す。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	総合的な探究の時間について、年間計画を立て、学年部・他分掌と連携して実施する。			
		探究型学習や小論文指導に資する図書を整備する。			
		社会に開かれた探究学習となるように、外部機関とのネットワークを構築する。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	進路指導部と連携し、探究学習を工夫して、キャリア形成を図る。			
		図書館オリエンテーションを実施し、適切な図書館の使い方を指導する。			

【生徒指導・保健部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	朝の校門立哨指導を通年でを行い、遅刻の減少、朝学習の心構えを醸成する。			
		健康調査・健康診断・健康観察により、生徒情報を把握し、授業に全力で取り組めるよう支援する。			
		長期休業前に注意喚起を行い、問題行動を未然に防ぐとともに、生活・学習習慣を整える。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	いじめアンケートを実施し、問題の早期発見・早期解決を図る。			
		SNS授業を実施し、トラブルの減少を目指す。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔な学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	交通講話を実施し、事故防止と交通マナーの遵守を図る。			
		清掃指導を強化し、好ましい学習環境をつくる。			
		保健指導を行い、健康管理を積極的に行う意識を啓発する。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	個別支援シートを活用し、問題を抱えた生徒の情報共有、対応を図る。			
		生活委員・保健委員を指揮し、活動の活性化を図る。			

【進路指導部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	放課後補習や長期休業中の補習を実施する。			
		学年会や職員会議で進路シラバスを確認し、共通理解を図る。			
		1,2学年でClassiの活用を促す。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりややさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	進学・就職の面接指導を通じて、社会性や社会参画意識を向上する。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	大学出張講義を実施する。			
		特活部や部活動顧問と連携し、進路学習日程に応じた家庭学習時間の調整を指示する。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	進路希望状況調査を実施し、生徒の進路希望を把握する。			
		大学教授等による進路講演会を実施する。			

【特活部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	全校生徒に対し、自らの適性や目標に合わせて、主体的に生徒会諸活動へ取り組むよう促す。			
		生徒会執行部に対し、計画的・探究的に取り組む重要性について指導する。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	様々な気づきを得て成長する機会として、生徒会諸活動では、多様な人と積極的にコミュニケーションをとるよう促す。			
		生徒会執行部内で円滑なコミュニケーションをとるため、週1回の定例会やクラスルームの活用を定着させる。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔な学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	生徒会諸行事や部活動を通じて、健康管理の重要性を学び、技能向上や心身の鍛練を促す。			
		生徒会執行部が生徒会諸行事を運営する際、生徒や来場者の安全や校内美化に配慮したものとよう指導する。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	全校生徒に対し、自らの適性を理解し、それを生かしながらHR活動や生徒会諸活動に参加するよう促す。			
		生徒会執行部に対し、全校や外部へ適切な情報発信をする意義とその技術を指導する。			

【渉外部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	会報や会合を通じて、授業の様子や卒業生の進路状況等について、PTAや同窓会に周知し、一層の協力を得る。 高い志を持ち、真理の追究や夢の実現に向けて主体的かつ継続的に学習する態度を育成する。	
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	会報や会合を通じて、学校行事の様子や部活動の成績等について、PTAや同窓会に周知し、一層の協力を得る。 他者を気遣い、思いやる豊かな心を育成する。	
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	会報や会合を通じて、スポーツテストの状況や避難訓練等の防災教育等の様子について、PTAや同窓会に周知し、一層の協力を得る。 文武両道を体現し、様々な変化や困難に柔軟に対応できる気力と体力を育成する。	
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	会報や会合を通じて、キャリア教育の状況や国際交流の様子等について、PTAや同窓会に周知し、一層の協力を得る。 グローバルな視野を持ち、ふるさと佐渡を誇りに思い、持続可能な発展に向けて貢献する課題解決能力の育成する。また、発信力やコミュニケーション能力を高め、多様な価値観を認め合い、対話と協働を通じてよりよい社会をつくりあげていくリーダーシップを育成する。	

【1学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	課題や小テストを計画的に実施する。			
		ICTやグループワークを活用し、主体性を高める授業を行う。			
		年間3回以上の個別面談を行い、進路や学習に対する意識づけを行う。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	挨拶を大切にし、人と関わる機会をもたせることで、人間関係形成への意識づけを行う。			
		学級活動への参加を促し、仲間との協働により、コミュニケーション能力を養う。			
		部活動や学校行事、ボランティア活動への積極的な活動参加を促す。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔な学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	心身の健康状況を把握し、教育相談や家庭連絡を行うことで、欠席数を減らす。			
		学年集会、LHR等で基本的生活習慣や、社会的な規範に対する意識づけを行う。			
		清掃指導を通じて、環境美化、公衆衛生への意識づけを行う。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。			
		総合的な探究活動や職業講話を通じて、自己理解を深め、多様性への理解を深める。			
		各種講演会や進路探究活動を通じて、自分の進路について考える。			

【2学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	課題や小テストを計画的に実施する。			
		ICTやグループワークを活用し、主体性を高める授業を行う。			
		学校行事に積極的に参加し、充実した学校生活を送る。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりややさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	挨拶を励行し、円滑な人間関係形成の意識を高める。			
		行事や部活動を通してコミュニケーション能力やリーダーシップを養う。			
		修学旅行事前の平和学習や修学旅行、人権教育、SNS教育等を通じて、社会的・個人的な規範意識を高める。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔な学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	心身の健康状況を把握し、適宜教育相談や家庭連絡を行うことで、欠席数を減らす。			
		清掃指導を通じて、公衆衛生の意識を高める。			
		社会活動への参加を促し、仲間と協働して活動する機会を持たせる。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。			
		総合的な探究の時間を通して、地域理解・国際理解・自己理解を深めて、社会貢献の意識を持たせる。			
		各種講演会や進路探究を通じて、自分の進路について考える。			

【3学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	モバイルサテラインの斡旋・計画を行い、通常の学習をサポートする。			
		放課後補習や添削を実施する。			
		集中学習を実施する。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	挨拶を大切にし、よりよい人間関係の構築に努めさせる。			
		行事や部活動を通して、学校のリーダーとしての対話と協働の能力を持たせる。			
		学級活動への参加を促して、仲間と協力して活動を行わせる。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	心身の健康状況を把握し、適宜教育相談や家庭連絡を行う。			
		清掃指導を通じて、公衆衛生の意識や持続可能な発展への関心を高める。			
		朝読書・朝学習を実施して、主体的・継続的な学習に安心して集中できる雰囲気をつくる。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。			
		進路講演会の実施により、自分の進路について考えを深めさせる。			
		総合的な探究の時間の活動などを通じ、自己理解を深めさせ自己実現を達成させる。			

【国語】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	授業内容に応じた週末課題、月課題を課す			
		ICTを適切に活用し、授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ)を図る			
		継続的に漢字・古典の小テストを実施する			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	意見を述べたり、交換したりする場を設ける			
		進路希望先に応じた個別指導を行う			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔な学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	週末課題、月課題の提出期限を守らせる			
		少人数習熟度別授業の実施			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	考查、模試等の振り返りを行い、自己の課題に向き合わせる			

【地理歴史・公民科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	授業と授業外の時間のけじめをつけさせ、授業中は授業に集中させる。			
		要点整理ノート等を活用して基礎的学習事項の定着を図る。			
		生徒の理解度を把握し、勉強の仕方を含めてアドバイスをするなど、個々に応じた適切な学習指導を行う。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	ICTを取り入れ、生徒の主体的な学習姿勢の形成を促す。			
		授業で班活動や発表を取り入れ、社会参画やコミュニケーション能力の育成を図る。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔な学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	ニュースや社会事象を取り上げ、自分たちが生きている社会そのものに関心を持たせるとともに、学習事項とのつながりを考察させる。			
		佐渡から世界までのグローバルな視野を持たせ、持続的な発展を目指す問題解決能力を育む。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	家庭学習も含めて、主体的・継続的かつ計画的な学習態度の形成を促す。			
		模擬試験の事前・事後指導を通じて、教科指導の側面から進路実現の意欲を高める。			

【数学科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	ICTを活用し、効率よく丁寧に指導する。			
		家庭学習を促すために課題を適切に課す。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など 主体的な課外活動の励行	ペアワーク、グループ協議を取り入れる。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底				
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	大学進学希望者を対象に添削課題等の個別指導を実施する。			
		既習事項の定着を図るために模試対策、模試の復習を行う。			
		模試の結果を分析し、苦手分野の克服を促す。			

【理科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	ICTや授業プリントを活用し、効率よく丁寧に指導する。			
		適宜、小テストを実施したり、課題を与え、家庭学習を促す。			
		発問し、発言する力や考察力、人の意見を聞く力を養成する。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	授業を聞く態度や、学習中の人へ配慮する心を育てる。			
		互いに学び合い、様々な考え方を尊重しあう心を育てる。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	授業の最初と最後に挨拶をする。			
		自然科学と安全・健康との関わりを意識させる			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	自然科学と社会の関わりを意識させる。			
		3年間を見通し、個々の進路に応じた適切な指導を行う。			

【保健体育科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	・全学年毎時間、基礎体力の向上を図る。			
		・1学年は中学からの更なる成長(筋力・体力)を図る指導と精神的向上を図らせる。			
		・2・3年生は選択制を用い、自ら学び積極的に行動・運動させる。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	・グループ活動を充実させ集団から学ぶ姿勢を育成する。			
		・学校行事・部活動への積極的参加を促す。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	・挨拶・声を出すことの意識を説き徹底指導を行う。			
		・集団行動を通して規範意識を高める。			
		・安全・マナーへの配慮はもちろんのこと、段階に応じてアップやトレーニングを用い、活発に行動するよう促す配慮を行う。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	・教諭の専門性を生かしつつ、より高度な技術習得をさせる。			
		・体育授業中の生徒情報を担任等と連携を図る。			

【芸術科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	芸術活動に関する基本的な知識・技能を定着させる。(ICT活用も含む)			
		基礎から応用へと、思考力や創造性を養う。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	学習活動を通じ、生徒相互が協働し合い豊かな体験をさせる。			
		学校行事・部活動への積極的な参加を促す。			
		地域行事への積極的な参加を促す。(作品展・各大会等を含む)			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔なる学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	適切な態度で授業を受けるよう指導する。			
		道具・楽器等の扱い方や、準備・片付けを徹底させる。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	進路相談に応じ、個別指導を実施。			
		芸術科の各専門性を生かし、より高度な技術を習得させる。			

【英語科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けて、主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業改善(個別最適・協働的・探究型の学びへ) ・教育相談・各種個別指導の充実	授業準備を明確に示し、授業開始に備えさせる。			
		小テストや課題を定期的に課し、学習習慣を定着させる。			
(2) 人権意識の高揚 学習活動全域を通じて、道徳心や倫理観の育成に努め、思いやりやさしさ溢れる在り方・生き方を確立する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と人間力の向上 ・対話的な学びの推進 ・学習テーマ・単元に応じた人権教育 ・特別活動や部活動の充実およびボランティア活動など主体的な課外活動の励行	ペア・グループなどのコミュニケーション活動に取り組ませる。			
		パフォーマンステストを実施する。			
(3) 安全確保と健康増進 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、安全確保と環境美化に努め、安心・清潔な学園を建設する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・総合的な探究の時間の推進、探究型学習への転換(サステナビリティ、環境・防災教育の充実) ・健康管理意識の向上・体力の増進 ・基本的生活習慣・規範意識の確立 ・清掃活動の徹底	ペア・グループなどの学習活動に取り組ませ、心の安心ゾーン・不安ゾーンをコントロールする。			
		教材で取り扱う題材やトピックを工夫し、思考力を深める活動を行う。			
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の自己のアイデンティティについて理解を深めるとともに、授業で学習した知識と比較・関連させて、思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・深い学びによる洞察力の育成 ・職業講話とキャリア探究による自己理解 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・海外連携高校と交流推進	スピーチコンテストやプレゼンテーションなどの情報提供と個別指導を適切に行う。			
		外部試験に関する情報提供と個別指導を適切に行う。			
		共通テストに対応した指導を適切に行う。			